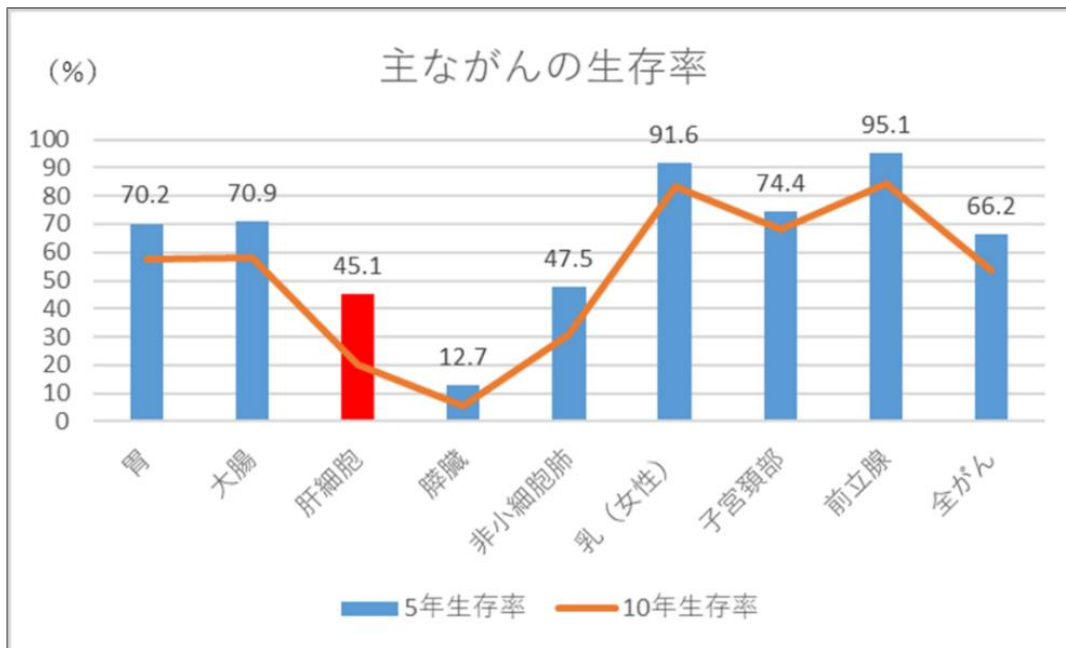


神戸市の肝がん対策

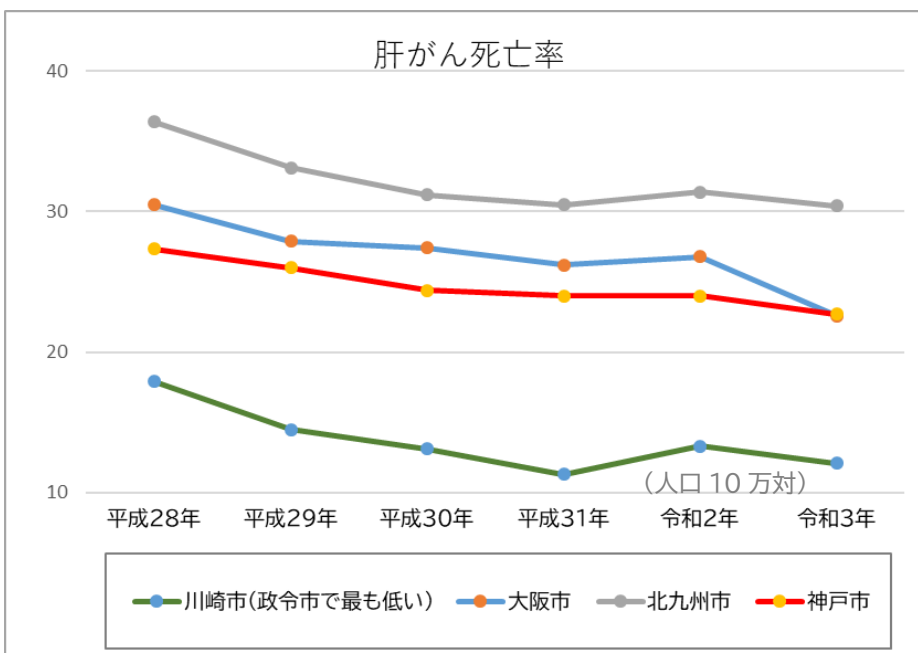
1. 現状と課題

肝臓は「沈黙の臓器」と呼ばれ、自覚症状が乏しく、本人が気付かないうちに慢性肝炎から肝硬変、肝がんに進行している場合がある。その為、全国的な傾向として、肝がんは生存率が他のがんと比べて低くなっている。

肝臓がんの原因の約6割は肝炎ウイルスであるが、様々な治療法の確立により、ウイルスの制御・除去等が可能となり、肝硬変や肝がんへの移行が防止できるようになった。そのため、肝がん死亡率は全国的に低下傾向である。神戸市でも同様の傾向ではあるが、政令市比較では肝がん死亡率が3番目に高い状況である。



国立がん研究センター（2010年がん拠点病院などでがんと診断された34万人を対象に分析）



2. 神戸市の肝がん対策

肝炎ウイルスに感染している方を早期発見、早期治療につなげるため、肝炎ウイルスの無料検査や、陽性の方が適切な治療等に繋がるようにフォローを行っている。また、肝炎や肝炎ウイルス検査の周知・啓発を行い、肝がん死亡率の減少を目指している。

(1) 肝炎ウイルス無料検査の実施（過去に肝炎ウイルス検査を受けたことがない方が対象）

① 集団健診会場

各区拠点会場 (集団健診)	実施数 (人)	B型肝炎		C型肝炎	
		陽性	陽性率	陽性	陽性率
平成30年度	10,398	56	0.54%	29	0.28%
令和元年度	8,472	45	0.53%	20	0.24%
令和2年度	6,802	39	0.57%	8	0.12%
令和3年度	8,189	41	0.50%	6	0.07%
令和4年度	9,110	48	0.53%	9	0.10%

対象者：当年度40歳以上の市民

② 指定医療機関

指定医療機関	実施数 (人)	B型肝炎		C型肝炎	
		陽性	陽性率	陽性	陽性率
平成30年度	3,018	17	0.56%	10	0.33%
令和元年度	3,002	24	0.80%	23	0.77%
令和2年度	2,217	10	0.45%	9	0.41%
令和3年度	4,386	26	0.59%	5	0.11%
令和4年度	6,122	30	0.50%	6	0.10%

対象者：満20歳以上の市民

(2) 肝炎ウイルス検査の個別勧奨

市内に居住する当年度40歳を対象に、40歳総合健診の無料クーポン送付時に肝炎ウイルス検査の案内（個別勧奨）を同封している。令和3年度からは当年度45・50歳に対しても、受診案内ハガキの送付による個別勧奨を実施している。

(3) 肝炎・肝炎検査等の周知・啓発

- ・受診啓発チラシを掲示・配布。

令和4、5年度は、60歳以上のコロナワクチン接種の案内にチラシを同封し送付した。また、令和5年度は神戸市国保に加入している当年度65歳・70歳を対象とした「フレイルチェック」の案内に、肝炎ウイルス検査のチラシを同封し送付した。

- ・花時計ギャラリーへのポスターの掲示

・市ホームページに肝炎や肝炎ウイルス検査等について掲載

(4) 肝炎陽性者フォロー

神戸市の肝炎検査を受け肝炎ウイルス陽性と判定された市民に対し、精密検査の受診の有無を確認し、未受診者および受診状況不明者に対しては、保健師が電話や訪問による保健指導を行っている。

また兵庫県の肝炎ウイルス陽性者初回精密検査費用助成事業についてもあわせて案内し、陽性者の早期受診と専門医療機関における適切な治療へつないでいる。

【令和3年度陽性者フォロー状況】

陽性者 77 人中、フォロー実施 70 人（7 人は連絡つかず受診勧奨の文書郵送実施）

→70 人中 59 人は医療機関の関与あり。（未受診者には必要時受診勧奨実施）